

報道関係者各位

2025 年 11 月 5 日

**NiX JAPAN グループの出資先である PT. Alam Energy Renewables を通じて
PT. Cisarua Mountain Dairy tbk 向けの屋根置き太陽光発電設備（1.1MWp）を完工しました**

NiX JAPAN グループが資本参画し、インドネシアにおいて屋根置き太陽光事業を推進している合併会社の PT. Alam Energy Renewables (以下、Alam Energy) を通じて、PT. Cisarua Mountain Dairy tbk (以下、Cimory) 向けの、最大出力 1.1MWp (DC) の屋根置き太陽光発電設備を完工し、2025 年 10 月 7 日に完工セレモニーを開催しました。

本事業では、Alam Energy がインドネシア西ジャワ州ボゴールにある Cimory の屋根に、総面積約 2,790 m²、最大出力 1.1MWp の産業用屋根置き太陽光発電設備を設置しました。本発電設備で発電された電力は Cimory によって使用されます。

Cimory は、Alam Energy の提供するレンタルサービスを通じて太陽光発電設備の設置費用等の初期投資を負担せずにクリーンな再生可能エネルギーを利用できます。また、インドネシアの主要な発電方法が石炭火力を中心とした火力発電であることから、消費電力の一部を再生可能エネルギー由来に切り替えることで、契約期間中に温室効果ガスを約 870.5 トン／年 (CO₂ 換算) 削減できると見込んでおり、インドネシア政府の掲げる 2060 年までのカーボンニュートラル達成にも寄与すると考えています。

PT. Cisarua Mountain Dairy tbk の代表取締役社長である Farell Sutantio 氏は「Cimory の乳製品加工施設に太陽光発電システムを設置することを通じて、製造業における炭素排出削減に貢献することに取り組んでおり、このイニシアチブは、Cimory Group と当社の戦略的パートナーである Alam Energy との協働事業であり、太陽エネルギーの活用を通じて当社のカーボンフットプリントを削減していきます。」と述べられました。

NiX JAPAN グループは、今後も本事業を推進することで事業規模を拡大していき、再生可能エネルギーを通じて更なる脱炭素社会へ貢献し、持続可能な社会に必要とされる企業を目指し、今後もインドネシア・東南アジアでエネルギー事業を加速していきます。

■ Cimory 太陽光発電設備**■ 事業概要**

太陽光発電設備 定格出力	1.104MWp (DC)
顧客	PT. Cisarua Mountain Dairy tbk 代表取締役社長：Farell Sutantio 事業概要：乳製品加工
導入施設および 所在地	PT. Cisarua Mountain Dairy tbk インドネシア西ジャワ州ボゴール
運転開始日	2025年10月

■ 株主企業 Web サイト自然電力株式会社 : <https://www.shizenenergy.net/>アラムポート株式会社 : <https://alamport.net/>株式会社エンバイオ・ホールディングス : <https://enbio-holdings.com/>兼松株式会社 : <https://www.kanematsu.co.jp/>NiX JAPAN 株式会社 : <https://www.nix-japan.co.jp/>